豊里公民館だより 発行：豊里コミュニティ推進協議会 〒987−0362宮城県登米市豊里町小口前80番地 TEL 0225−76−2237 FAX0225−76−1946

Toyosato 公民館だより

No.96

豊里公民館広報

令和3年4月1日発行

4 月号

スマホで簡単に検索
公民館ホームページ 豊里公民館

昔の道具の工夫に驚き

実際にかさをかぶって当時の人になった気分に

豊里小学校３年生６０人と、柳津小学校５年生９人が、平筒沼農村自然学習館の見学に訪れ、昔の人々の生活の様子や道具の仕組みについて学びました。【写真上】

学習館では、豊里で使われていた農具や民具などを展示しており、子どもたちにとっては初めて見る道具ばかり。館内を回りながら市の学芸員の説明を受け、「これは何をする道具？」などと質問をしたり、人力で動かす農機具の使い方を教わり、当時の大変な生活の中の工夫された道具に驚きの連続でした。

分かったことはしっかりとメモ

唐箕（とうみ）から出る風が意外に強くてびっくり

唐箕（とうみ）とは
　上部の漏斗（じょうご）から少しずつ穀物を落下させ、そこに横から風を送り、わらくずや成熟しなかった籾（もみ）などと、実の入っている重い穀粒を選別をするための道具です。

これは何だろう

平筒沼クリーンアップ作戦

今回は雨で残念ながら中止となってしまいましたが、
集まっていただいた皆さんありがとうございました。次回もぜひ。

まちの話題 投稿コーナー ②

町民の皆さんから募集している「あなたの素敵なお話きかせてください」。今回は、ステキなお庭を紹介します。

色とりどりの花に囲まれて

十五貫・千葉りき子さん

満開のチューリップ

土手からみた様子

「とにかく花が好きなんだね」。こう明るく話すのは、十五貫・千葉りき子さん。

先日千葉さんが公民館を訪れ、色とりどりの花の写真を見せてもらいました。

もちろん今年の写真ではなく去年の様子ですが、今年も例年以上にあざやかな花々の競演が見られるはずなので、花の好きな人にぜひ見てもらいたくて— とちょっぴり気はずかしそうに話していました。

千葉さんのガーデニング歴は３２年。２００株ほどのチューリップを植えたのが手始めで、その後はご主人に協力してもらい、仕事から帰った夜などに、ライトで照らしながらどんどん広げていき、今では一万株を数えるほか、ネモフィラや芝桜なども加わり、千葉さんの家に通じる道の両端は、これからの季節の花で覆い尽くされます。

千葉さんのお友達やご近所の間でもこの花畑は評判で、見ごろの時期には多くの人が足を運んでいるそうです。

また、町内のデイサービスを利用している皆さんなども見学が恒例行事になっているようで、こうした人たちの笑顔が、千葉さんにとっては大いに励みになっているようです。

８月から種や球根の準備を始め、土の掘り起こしや草取りなど、大変なこともあるそうですが、ご夫婦で二人三脚、楽しみながら作業をされています。そしていつかは、皆さんにお花摘み体験もしてもらいたいとほほえむ千葉さん。取材をしたときはまだ芽を出したばかりでしたが、４月中旬には満開になる予定です。今年はどんな表情の花々が咲くのでしょうか。来月この紙面で紹介することにします。

ネモフィラと芝桜も美しい

小さな芽も可愛らしいですね

個人のお宅ですので、見学の際はマナーを心掛けてください

しっかり感染対策大いに楽しむ

いけばな教室【写真左】とシニアいきいきセミナー【写真右】が本年度最後の講座を終えました。講座の最後には閉講式を行い、参加者の皆さんには、記念品が贈られました。

「三密」を避けて事業を行ってきましたが、来年度もしっかり感染防止対策をしながら事業を開催する予定ですので、みんなで大いに楽しみましょう。ご参加お待ちしています。